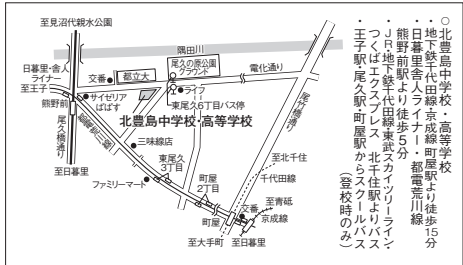


北豊島中学校・高等学校

〒116-8555 東京都荒川区東尾久6-34-24 ☎03-3895-4490 学校長 安達 剛



〈URL〉 <http://www.kitatoshima.ed.jp>

沿革 1926年、秋上ハル氏らにより北豊島女学校として創立。1943年に高等女学校となり、1949年に現校名に変更。1988年、高等学校に国際英語コースを設け、1992年には通信制課程(共学)を設置。

校風・教育方針

中学・高校を卒業しても、10年後の未来でも、自分自身で発信力、傾聴力、受容力、コミュニケーション力(ツールとしての英語力も)を伸ばし、教養を磨き、様々な場面で自分自身を輝かせ続ける『社会で活躍できる女性』の育成を目指しています。少人数制教育でしかできない「学びの方法」を駆使しながら、自分を表現する環境を整えています。

カリキュラムの特色

- ① **リベラルアーツ教育** 「正解のない問題」に対して、自らの知識や知見、仲間との協働で最善解を導き出すために、「考え」「判断し」「行動できる」ための、総合的な教養力を身につけるリベラルアーツ教育を実践しています。
- ② **プレゼン教育** 「自分の考えや思い」を正確に相手にわかりやすく伝える言語化能力の向上とともに、聞き手が次の行動につなげられるだけのスキルを磨きます。全員がプレゼンをする機会をことあるごとに設け、「伝え方・聞き方・魅せ方」の3要素を合わせてトレーニングしていきます。
- ③ **英語教育** 週8時間のうちE.S.の授業が3時間あり、「英語」と「E.S.」がリンクすることにより、定着度が上がります。自分の主張を伝えられる「発

信型英語」と、生活の中で必要な「使える英語」を身につけます。これに加えて、様々なT.P.O.に合わせて英語を使いこなせる力も身につけていきます。**④生徒が「主語」の学校環境** 様々なチャンスや機会を提供することができ、実体験の経験を積み重ねて自己肯定感を養います。さらに、中学では家庭学習実行表を使い、「学習計画→実践→自己評価→担任による確認」のPDCAを実践。高校ではMonthly Weekly Planを使います。

ICT教育機器を「文房具」として活用し、学習補助やその他のICTスキルを身につけるツールにしています。また、情操教育・感性教育として、華道、茶道、ギターを学年ごとに実施しています。

高等学校では新たに3コース制を改編、1年ごとではなく3年間で先進的な教育を展開します。

Inspiring Program(旧特進コース)は、実社会とのつながりを多く持つことで、多様な刺激を受け、自分自身の興味関心を大きく広げて「なぜ」を起点とした学びを継続できる自立型学習者への変貌を目指します。Valuable Program(旧総合コース)は、基礎学力を磨いて考える力を養い、同時に自己肯定感を高める実社会とのつながりを図りながら、自らの価値に気づいていくことを目指します。Global Program(旧国際英語コース)はネイティブ教員が担任で、コミュニケーションのツールとして「使える英語」の習得を目指し、リベラルアーツ教育により多様な価値観や考え方を網羅的に学び対応できる幅のある人材を目指します。

任意で受講できる土曜講座は、プロの指導者による授業が行われます。着物着付け、指圧、洋裁、英語4技能資格試験講座などの講座が約30あり、将来役立つ知識や教養が得られます。

国際教育

中学では全員必修の研修として、1・2年次にEnglish Challenge Seminar、3年次に海外異文化体験研修があります。高校では1年間の国際ロータリークラブ交換留学プログラムをはじめ、カナダ学期研修、スービック英語強化プログラム、オーストラリア短期留学などの制度があります。

環境・施設設備

明るく開放的な校舎内には、電子黒板を配置し

た教室をはじめ、茶道室、理科室、コミュニティスペース、体育館などが設置されています。

学校行事・クラブ活動

北桜祭(文化祭)をはじめ、校外授業、プロの演奏家を招くスクールコンサート、合唱コンクールなど、多彩な行事が行われます。

クラブ活動は、体育系としてバレーボール、バトンの、卓球、剣道など7部、文化系としてボランティア、吹奏楽、パソコン、書道など11部があり、活発に活動しています。

データファイル

2025年度入試日程 (予定)

募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日
一般 50	1/10~2/1	2/1午前	2/1	2/11
特待1回 15	1/10~2/1	2/1午後	2/1	
英語 10	1/10~2/1	2/1午後	2/1	
適性検査型 10	1/10~2/1	2/1午後	2/2	
特待2回 15	1/10~2/2	2/2午後	2/2	
自己表現① 5	1/10~1/29	2/2午後	2/2	
特待3回 10	1/10~2/5	2/5午後	2/5	
自己表現② 5	1/10~2/2	2/5午後	2/5	

高等学校 推薦Bは神奈川を除く都外生対象

募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日
推薦A } 75	1/15~1/18	1/22	1/23	1/30
B } 75	1/15~1/18	1/22	1/23	併願校発表翌日
一般 75	1/25~1/28	2/10	2/11	併願校発表翌日

2025年度選考方法・入試科目

中学校
一般・特待：2科(特待2回は2科か4科)、面接
英語：英語(リスニングを含む)、英会話、面接
適性検査型：検査Ⅰ・Ⅱ(各45分)、面接
自己表現：自己表現「好きなこと」プレゼン、面接
〈配点・時間〉国・算・英=各100点45分 理・社=各50点計45分(面接)生徒個人 参考

高等学校

推薦A・B：基礎学力適性検査(3科計100点40分)、面接
【出願条件】A：I.P.3科12か5科19か9科33 V.P.3科9か5科14か9科26 G.P.英語4か英検3級 B：I.P.とV.P.はAの3科か5科の基準かつ9科の基準 G.P.はAの基準かつ9科28
一般：I.P.・V.P.一語、数学、英語(リスニングあり)、面接 G.P.一英語(70分200点)、面接
※併願優遇あり(出願条件は推薦Bと同様)

〈配点・時間〉国・数・英=各100点50分
〈面接〉生徒グループ(G.P.はネイティブの面接官含む)重視

指定校推薦枠のある主な大学

法政大 成蹊大 日本大 武蔵大 東邦大 日本女子大 大妻女子大 獨協大 立命館大など

2024年卒卒業生進路状況

卒業生数	大学	短大	専門学校	海外大	就職	進学準備他
72人	57人	2人	8人	1人	1人	3人

2024年度入試結果

中学校 特待の一般合格は1回19、2回7、3回8

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
一般 50	45	33	30	1.1
英語10/適性10	4/1	3/1	2/1	1.5/1.0
自己表現①⑤/②⑤	0/2	-/2	-/2	-/2.0
特待1回 15	42	30	4	7.5
2回 15	49	14	5	2.8
3回 10	49	13	4	3.3

高等学校 IP/VP/GP

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
推薦 25/25/25	10/29/18	10/29/18	10/29/18	1.0/1.0/1.0
一般 25/25/25	6/47/18	4/39/18	4/37/18	1.0/1.1/1.0

学校説明会 要予約
★中学校 入試説明会 12/8 12/15 授業見学会&入試説明会 9/7 体験学習会&学校説明会 9/23 11/4 特別奨学生セミナー 10/27 11/23 個別相談会 1/11 1/18 1/25
★高等学校 9/22 11/2 11/30 12/7 グローバルプログラム説明会 9/22 土曜講座見学会 10/26 個別相談 11/16 12/14 12/21 12/25
見学できる行事
 文化祭 10/12・10/13(10/13はミニ説明会あり)